



嵐のち晴れ、やっぱり新島



Written by Sales Dept. Toshio Hayashi

ゴールデンウィークに、3年ぶりとなる新島へ家族で出かけ、キャンプをしてきました。新島は伊豆諸島のひとつで、私が「ガラスの島」として何度も足を運んでいる大好きな場所。竹芝から夜行の大型船に乗れば朝に到着し、ガラス工房に温泉、キャンプ場まで無料という、ありがたい島です。晴れた日はレンタサイクルで島を巡り、海沿いの温泉に浸かり、夕日を眺め、居酒屋で特産の明日葉の天ぷらをつまみに島焼酎を一杯。レンタカーだと「することが無さすぎた」と友人が言っていたほどで、自転車でのんびり巡るのがこの島の醍醐味です。



初日は天気も上々。レンタサイクルとキャンプ道具を受け取り、テントを張って海を見に行き、子どもたちも大はしゃぎ。ところが二日目の夜から大雨予報。覚悟して眠ったものの、午前3時過ぎ、ロープの切れる音で目が覚めました。風速は12mほど。ロープを張り直し、ペグを打ち直し、あちこちのテントからも同じような音が聞こえます。それでも子どもたちは動じず、すやすや。妙に平和な寝顔に、こちらが励まされました。

風はさらに強まり、朝7時頃には風速20mを超え、テントはほぼ倒壊状態。受付棟へ避難しました。新島は遮るものが少なく、柔らかい石でできた島なので、波風に少しずつ削られています。かつてサーフィンのメッカだった羽伏浦海岸も、今では様子が変わってきているそうです。昼には雨風が収まり、テントを一度解体して木陰へ移動。張り直したあとの澄んだ空気と柔らかな光は、本当に気持ちよく、さっきまでのバタバタも、いつの間にか良い思い出に変わっていくから不思議です。

最終日はまた朝から雨。濡れた道具の撤収にヘトヘトになり、昼前の大型船で逃げるように帰りました。それでも、嵐も含めて全部が「新島らしい」出来事。懲りずに、もう次の計画を考えています。皆様も初夏の季節、自然に翻弄されつつ癒される、そんな旅はいかがでしょう。



ハリオサイエンス 株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-3

<https://www.harioscience.com>

TEL.03-6861-5602 FAX.03-6861-5603